

# BALL TEST DATA

【セールス資料】

BALL NAME: MUTANT CELL HYBRID



平成 21 年 12 月 24 日

COLOR:SOLID : BLACK PEARL / RED / BRIGHT BLUE PEARL

COVER STOCK : **CYTOPLASMIC XL HYBRID REACTIVE**

レイアウト例

RG : 2.54 MID-LOW RG:0.047(MEDIUM) 15lbs

**MUTANT HYBRID KILLER CELL**

FACTORYFINISH:1500POLISH

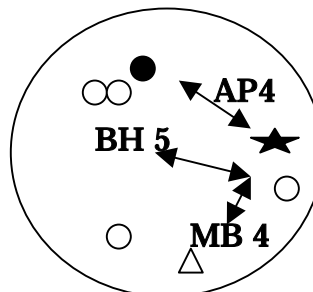
TRACKFLAREPOTENTIAL:7 + (HIGH)

BACK END:20 ( 1 - 20 ) MAX LENGTH : 16 ( 1-20 )

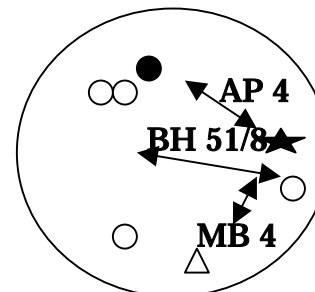
O	LONG			
I	MEDIUM			
L	SHORT			
		Light	Medium	Heavy

適正レーンコンディショニンググラフ

【MEDIUM HEAVY OIL】

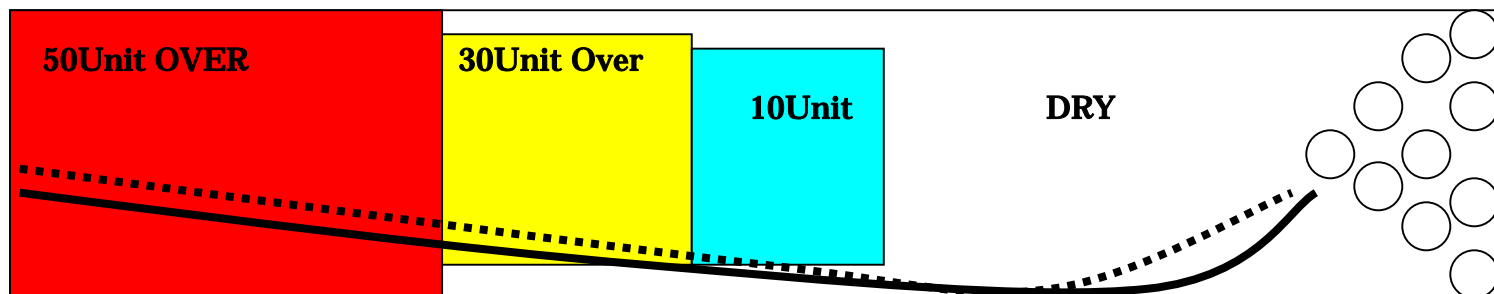


CA52 度



CA52 度

フレア幅 オイルゾーン 21/2 ・ ロール 31/2 全体幅 6 インチ



0F

15F

37F

40F

比較品ライン

MUTANT HYBRID

KILLER CELL

【レーン状況】 ベースメンテはレーンランナーで給油。外 7 枚から中は二度塗りを行い、バックエンドは手拭きのクリーニング作業を行いました。ミディアムヘビーのレーンコンディションに仕上がっています。

【製品比較表】

曲がり度	1	2	3	4	5	曲がり方	アーク	1	2	3	4	5	シャープ
スキッド	1	2	3	4	5	オイルの強さ	1	2	3	4	5		
ピンアクション	1	2	3	4	5	テスト品						比較品	△

\*上記の数字は、1側が少ない(短い・弱い) 5側が強い(大きい・長い)

【ボール総合評価】

セルもミュータントから中球が新しくなり(Nucleus)、前シリーズに比べてバックエンドでのキレが得られる分、曲がり位置(ブレイクポイント)が先に成りました。レーン外目やインサイドも投球しましたが、基本的にピンに寄って行くアーク状の曲がりが出て、非常に投げやすいイメージでした。オイルにもあまり敏感ではなく、安定感抜群の製品です。

【ここがポイント】

今回の製品は非常にセンター・コンディションに適している製品です。理由は先ずレーン手前で転がりながら直進する事です。次に曲がり方に均一性があり、オイルに強すぎず弱すぎず。長い間同じラインが攻められることです。このコアにvari、転がりの持続性は初代セルシリーズを上回る物になっています。どのポウラタイプにも合う非常に勤めやすい製品で、ボールバランスが良く、私もお気に入りです。



発売予定：2010年2月中旬予定 販売予定価格 ¥47,250 (税込) テスト協力センター：本八幡八タボウル 使用マシン：レーンナー

テスター 石原 章夫プロ・松谷 俊二【HIGH SPORTS ボールテスター & 開発部】